

# 北中通信

No.20 「生きて働く知恵を豊かに」

- ・【創造】疑問をもとに生きて働く知恵を創り出し、表現する
- ・【友愛】他人の気持ちを想像し、人のために尽くす
- ・【誠実】誠実に自分の役割を果たす
- ・【健康】強い心と体もち自分を信じて挑戦し続ける

平成30年(2018年)/2/14 文責:校長 荻野桂司

## 立志の集い(2年生)…感謝と決意と愛情と

2回目の降雪に見舞われた2月2日(金)の午後、2年生が「立志の集い」を開催しました。この日のために、「自分史」や「絵手紙」の作成、劇やスライド発表の練習などの準備を、26名が役割分担し、協力して取り組んできました。

あいにくの雪でしたが、駐車場の誘導、受付、司会進行や挨拶などの運営も2年生自らが行いました。晴れ舞台を自分たちの手で創り上げていくことは、自立への一歩です。ステージ発表では、成長を支えてくれた保護者や家族の方に対し、創作劇やスライド、合唱などで感謝の思いを伝えていました。また、誓いの言葉では、将来の目標や願いを、一人一人が力強い言葉で発表しました。

誕生からはじまり、保育園、小学校、そして中学校へと至る十数年間を振り返った劇は、せりふや場面構成、配役など、生徒の個性が活かされた表現力豊かな舞台でした。園児のときの写真と現在の姿とを比べて見せるスライドショーには、ユーモアとセンスの良さが感じられました。

前回の北中通信で、「立志の集いは、キャリア教育で高めたい六つの姿を追い求め、行動に表す場」と書きましたが、2年生は、みごとに集いの趣旨を達成することができました。このような若人の知恵や行動力こそが、未来のふるさと(小野、富岡)を創造し、活気をもたらす原動力です。

今まで見せたことのない我が子の「一歩成長した姿」を温かな眼差しで見詰めてくださった保護者の皆様、義務教育最後の一年を迎える2年生に対し、人生の先達として、「家族の一員としての責任感」と「自分の体と頭は自分で鍛える覚悟」の大切さを伝えていただきますよう、紙面をお借りしてお願いいたします。

## 小野小6年生を迎えての一日入学

2月9日(金)の午後、4月に本校に入学予定の小野小6年生を迎えて一日入学を行いました。

体育館での全体説明では、はじめに担当の教員が、授業や学校生活、校則や自転車通学などについて説明を行いました。続いて、生徒会本部役員が、行事や部活動の様子をスラ





写真で示しながら、北中学校の一年間を分かりやすく紹介しました。全体説明の後には、校舎内の見学と各学年の授業の参観です。教室に入り、中学生が学ぶ姿を間近に見て、自分が中学生になったときの姿を思い描いてもらいました。

今回の一日入学では、新入生の保護者を対象にSNSに関する講演会も開催しました。講師は、NPOぐんま子どもセーフネット活動委員会の伊藤洋一先生(西部教育事務所次長)です。



SNS(スマホやネットのコミュニケーション・アプリ)が睡眠や学力、脳の機能に与える重大な影響について、各種の調査結果を基に分かりやすくお話しいただきました。「コミュニケーションの便利な道具」の一面には、「子どもの脳の健全な成長を阻害する」顔があることを我々おとなは真剣に受け止め、具体的な行動を起こす必要があると痛切に考えさせられた講演会でした。

◆ SNS講演会で紹介された、川島隆太教授(東北大学医学部、脳科学者)の調査結果より

- ・スマホやネットを長時間使用すると、時間をかけて学習したことが脳に定着しない。「努力が結果に出ない」
- ・SNS等の使用は、脳の「前頭前野」(思考や言語に関係する部位)の働きを抑えてしまう。  
言葉で考えるという脳の機能が休止してしまう。 「見る・聴くことはしていても、考えていない」
- ・ゲームをした後は、脳(前頭前野)はなかなか働かない。 「ゲームの後の勉強は学習効率が悪い」

## 「チーム北中」航海中！(振り返り編)

### 学校評議員会(2月6日)

2月6日(火)に今年度第三回目の学校評議員会を開催しました。今回は、今年一年間の学校経営全般について成果や課題を確認していただくとともに、課題解決の方策について意見交換を行うことが主な内容です。評議員の方からは、学力向上やいじめのない学校づくり、地域と生徒との関わりなど幅広い視点からご助言やご提案が出されました。また、降雪による登校遅れ等の対応について、学校から地域への連絡体制を整備する必要があることも話し合われました。「地域から信頼される学校経営」に向けて、これからも地域の有識者の方のお力を役立ててまいります。

### 教育委員会年度末訪問(2月8日)



2月8日(木)に、市教育委員会による年度末の訪問が行われました。当日は、岡野教育委員様をはじめ、学校教育課から指導係長、指導主事の皆さんが来校されました。今年度の本校の取組を振り返るとともに、新年度に向けて学校の課題を解決するための方向性等について協議を行いました。

岡野委員さんからは、どのような大人を目指すのかを教師が身近なモデルとして手本を示してほしいとのご意見をいただきました。

また担当の指導主事の方からは、小・中学校間連携の一層の充実に向けて、授業や生徒指導に関する情報の共有を進めたり、教職員間の交流を深めるよう助言をいただきました。今回の訪問での指導・助言を踏まえ、より良い学校づくりを一層進めてまいります。

☆本通信に関するご意見・ご要望等は、校長(荻野)までお願いいたします。 Tel 62-3009/Fax 62-6909